



砂川版 「キャリア・パスポート」 補助資料

令和6年4月1日
砂川市教育委員会



みまもりんご

〇〇（がっこうぎょうじ）がんばりシート（1stステージ）

うんどうかいのめあて



がんばることを決めよう

うんどうかいをふりかえろう

① がんばったことやできたことはなんですか。

② たのしかったことやうれしかったことはなんですか。

宿泊学習 がんばりシート

宿泊学習の目標（学年全体の目標）



自分の目標を決めよう（〇〇学校の〇年生として、〇年〇組の一員として）

【楽しみなこと】

【担当する係】

宿泊学習での活動を振り返ろう

- ① 目標に対して、がんばったことや達成できたことは何ですか？

- ② どんなことが心に残りましたか。

- ③ 宿泊学習で学んだことをこれからの学校生活でどのように生かしていこうと思いますか。

〇〇（学校行事）がんばりカード（2nd ステージ）

修学旅行の目標（学年（学級）全体の目標）

修学旅行で大切なことは？



自分のめあて（〇〇学校の〇年生として）

修学旅行をふり返ろう

- ① 目標に対して、達成できたことやがんばったことは何ですか。

- ② どんなことが心に残りましたか。

- ③ これからの学校生活にどう生かして行こうと思いますか。

学校行事等（〇〇について）

※体育祭、学校祭、修学旅行等

（事前）

記入日

年

月

日

〇〇での目標（自分の役割など）

そう思った理由

目標を達成するために準備すること

（事後）

記入日

年

月

日

目標を達成するために、がんばったこと

心に残っていること

自分が成長したと思うこと

今回の体験・経験を踏まえて、今後生かしていきたいこと

先生からのメッセージ

メッセージを読んで考えたこと

体験活動（職場体験活動）

（職場体験活動前）

記入日 年 月 日

職場体験活動のねらい

「働くこと」についての今の考え（「働く」ということに、どのようなイメージや考えをもっているか）

職場体験活動先

職場体験活動を通して学ぶこと（なぜ、自分は職場体験活動を行うのか）・経験したいこと

自分の課題（生かしたい・伸ばしたい自分のよさ・知りたいこと）

（職場体験活動後）

記入日 年 月 日

職場体験活動で、嬉しかったこと・自信がついたこと

職場体験活動で、難しかったこと・うまくいかなかったこと

職場体験活動を通して、自分の伸ばせたところ・新しく発見できたところ

「働くこと」についての今の考え（体験を通してどのように考えが変わったか・変わらなかったか）

職場体験活動を終えて、これからの自分の進路や将来について考えていること

お世話になった方や保護者からのメッセージ

先生からのメッセージ

メッセージを読んで考えたこと

○や□の中の学校行事名をいれかえれば、他の学校行事の際にも使えます。

○○ (がっこうぎょうじ) がんばりカード (1st ステージ)

うんどうかいのめあて

単なる合言葉やキャッチフレーズではなく、その学校行事のねらいを児童にわかりやすい言葉で示しておきます。(自分の役割を責任をもって果たす。友達と協力し、進んで活動する。など)



がんばることを決めよう

うんどうかいをふりかえろう

① がんばったことやできたことはなんですか。

できたか、できなかったか、だけにならないようにし、自分のがんばりに気づき、その後の学校生活に前向きに取り組むことができるようにします。

「友達のがんばっていたところ」を書くなど、相互評価をくわえてもよいでしょう。

② たのしかったことやうれしかったことはなんですか。

宿泊学習 がんばりカード

宿泊学習の目標（学年全体の目標）

単なる合言葉やキャッチフレーズではなく、自然の教室の意義について、しっかりと理解できるようにして、子供たちにわかりやすい言葉でねらいを示しておきます。そして、全体目標を受けて個人の目標を立てるようにします。



自分の目標を決めよう（〇〇小学校の5年生として、〇年〇組の一員として）

集団宿泊学習においても、学校の代表であるという意識をもって活動できるようにし、社会とのつながりが意識できるようにします。具体的な実践目標を意思決定し、「目標に向かって頑張ったり、やりとげたりすること」ができるようにします。

【楽しみなこと】

【担当する係】

宿泊学習での活動を振り返ろう

① 目標に対して、がんばったことや達成できたことは何ですか？

② どんなことが心に残りましたか。

③ 宿泊学習で学んだことをこれからの学校生活でどのように生かしていこうと思いますか。

個々の成果と必要に応じて課題について考えさせ、それを整理させることで、今後、学校生活などで取り組むべき事柄がとらえられるようにします。

○や□の中の学校行事名をいれかえれば、他の学校行事の際にも使えます。

○○（学校行事）がんばりカード（2nd ステージ）

修学旅行の目標（学年（学級）全体の目標）

単なる合言葉やキャッチフレーズではなく、その学校行事のねらいを児童にわかりやすい言葉で示しておきます。（自分の役割を責任をもって果たす。友達と協力し、進んで活動する。など）

修学旅行で大切なことは？

修学旅行の場合、一般の方と接する機会も多いため、修学旅行先でも学校代表としての意識をもって過ごすなど、社会とのつながりを意識できるようにします。単なる「楽しい学校行事」にならないように、事前に意義（大切なこと）をしっかりと理解して、目標を立てることができるようになります。

自分のめあて（○○小学校の6年生として）

修学旅行をふり返ろう

① 目標に対して、達成できたことやがんばったことは何ですか。

② どんなことが心に残りましたか。

できたか、できなかったか、だけにならないようにし、自分のがんばりに気づき、その後の学校生活に前向きに取り組むことができるようになります。「友達のがんばっていたこと」等の相互評価を加え、互いのよさやがんばりに気付く機会となるようにすることも考えられます。

③ これからの学校生活にどう生かして行こうと思いますか。

学校行事等（〇〇について）

※体育祭、学校祭、修学旅行等

（事前）

〇〇での目

そう思った

- ・学校行事の意義を高め、生徒の成長につながるものとするには、事前指導が重要となります。
- ・教師が生徒に対して、本学校行事においてどのような経験や成長をすることを願っているのか、どのような意義のある学習なのか、丁寧に伝えた上で、記入させましょう。
- ・学校行事に関連する他のワークシートとの活用場面の整理が必要となります。
 - 思いきって、従来のワークシートを本シートに集約する
 - 詳細な場面ごとのワークシートの重要ポイントのみを抜粋したシートとして、本シートを次年度にも引き継ぐべき、まとめの1枚とする

目標を達成するために準備すること

学校行事の目的や自分の役割を考え、どのように行動するのかを記入することができるように、支援します。

（事後）

記入日 年 月 日

目標を達成するために、がんばったこと

心に残っていること

自分が成長したと思うこと

学校行事での体験と実生活とを関連付けて、気付いたことや取り組みたいこと、思ったこと等、自分が成長したことを記入できるようにします。

今回の体験・経験を踏まえて、今後生かしていきたいこと

体験での学びと日常生活の学びをつなぐことができるように、個人や集団での対話を行い記入させると良いでしょう。

先生が

- ・生徒の経験に基づく成長ポイントを見取り記入することが大切です。
- ・学校での経験と社会をつなぎ、生徒の意識が高まるメッセージを送りましょう。
- ・短いメッセージでかまいません。

メッセージを読んで考えたこと

体験活動（職場体験活動）

（職場体験活動前）

記入日 年 月 日

職場

- ・体験活動の意義を高め、生徒の成長につながるものとするには、事前指導が重要となります。
- ・教師が生徒に対して、本体験活動においてどのような経験や成長をすることを願っているのか

「働くこと」についての今の考え（「働く」ということに、どのようなイメージや考えをもっているか）

職場体験活動先

体験活動先で、どんな力をつけたいのか、そのためにどのような活動をしたいのかを具体的に考え、記入できるように支援します。

職場体験活動を通して学ぶこと（なぜ、自分は職場体験活動に参加したいのか）

自分の課題（生かしたい・伸ばしたい自分のよさ・知

・自分自身を見つめ、伸ばしたいことや学びたいことが記入できるようにします。

（職場体験活動後）

記入日 年 月 日

職場体験活動

- ・体験活動の前に学びたかったことなどと比べて、実際の活動を振り返り、具体的に記入することが大切です。
- ・生徒自身が自分の言葉で体験活動を価値付けできるようにしましょう。

職場体験活動で、楽しかったこと・うまくいかなかったこと

職場

成功体験だけでなく、うまくいかなかったこと等も、今後の自分の成長につながる貴重な経験であることを伝えます。

新

事前・事後に「働くこと」について向き合うことで、生徒自身が自己の変容に気付くことができるようにします。

「働くこと」についての今の考え（体験を通してどのように考えが変わったか・変わらなかったか）

- ・体験先にメッセージをいただく際には、事前（体験前）に依頼しておきましょう。また、体験後のお礼の挨拶等の際には、あらためて丁寧な依頼が必要です。
- ・メール等でメッセージをいただく方が先方の負担が少ないことも考えられます。

お世話になった方や保護者からのメッセージ

先生からのメ

- ・社会とのかかわりや人とのつながりが意識できるようメッセージを記入します。
- ・生徒の経験に基づく成長ポイントを見取り記入することが大切です。
- ・短いメッセージでかまいません。

メッセージを読んで考えたこと

「砂川版キャリア・パスポート」を活用した授業例 年度始め

- (1) 前期課程 学級活動（特別活動）
- (2) 学級活動 (3) 「一人一人のキャリア形成と自己実現」
 - ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成
- (3) 題材「〇年生になって」
- (4) 事前の指導
 - ▶ 前学年度末に書いた「砂川版キャリア・パスポート」を見返して、前学年での学習や生活を振り返るとともに、理想の学級生活やなりたい自分について考える。
- (5) 本時の学習

	児童の活動	指導の留意事項
導入 つかむ	<p>○前学年の年度末に書いた砂川版キャリア・パスポートをもとに、前学年を振り返り、自分や友達の成長について話し合う。</p> <p>○これまでの自分を振り返って、なりたい自分について願いをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標をもって生活することの大切さに気づく。 ・前学年と比べた自分たちの成長について考え、成長を重ねていくことが大切であることに気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶記録のみの時間とならないようにする。 ▶導入では、これまでの自分の学習や生活を振り返るとともに、将来の自分と今の自分がつながっていることを理解し、今年度の具体的な目標を考える気持ちを高める。 ▶今の自分の経験や思いを記録していくことの意義を感じられるようにする。
展開 さぐる 見つける	<p>○将来の夢や◆年生としてなりたい自分、できるようになりたいことを発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳科の学習や伝記などを参考に、将来と今はつながっていることや、思い描いている夢が叶わなくても、今、取り組んでいることは無駄にならないことに気づくようにする。 <p>○なりたい自分になるために、どんなことに取り組めばよいか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活や家庭、習い事などでどんな力がつか考える。 ・これまでの自分の経験をもとに話し合うようにする。 ・全ての経験が、自分の成長につながることに気付き、様々なことに挑戦しようという意欲をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶互いの思いを尊重し合う雰囲気大切になる。 ▶自分の経験が、友達へのアドバイスになることを伝える。 ▶友達の経験が、全て自分にも当てはまるかは分からないことを伝えておく。その上で、自分の意思で決定することが大切であることを伝える。
終末 決める	<p>○なりたい自分になるための目標や、これから取り組むことを決める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意思決定したことを砂川版キャリア・パスポートに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶話し合ったことを生かして、自分に合った具体的な実践内容や行動目標を意思決定することができるようにする。

- (6) 事後の指導
 - ▶ 意思決定した目標や実践方法について1週間程度取り組み、ペアやグループで振り返って互いの頑張りや成果を認め合う。
 - ▶ 継続した実践となったり、必要に応じて新たなめあてを立てて取り組んだりすることができるように助言する。

「キャリア・パスポート」を活用した授業例 年度終わり

(1) 前期課程 特別活動

(2) 学級活動 (3) 「一人一人のキャリア形成と自己実現」

ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成

(3) 題材「1年間をふり返ろう」

(4) 事前の指導

▶ 砂川版キャリア・パスポート「1年間をふり返って」の1年間の振り返りの部分を記入しておく。

- ・楽しかったことやできるようになったこと
- ・がんばったことや成長したこと

▶ 次の学年で楽しみにしていることやがんばりたいことのアンケートをとり、まとめておく。

(5) 本時の学習

	児童生徒の活動	指導の留意事項
導入 つかむ	<p>○アンケート結果から、気付いたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達が楽しみにしていることやがんばりたいと思っていることを知る。 <p>○今年度記入したシートや教材などのポートフォリオや「砂川版キャリア・パスポート」を参考にしながら、1年間の生活や学習を振り返り、自分たちの成長を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・印象に残った出来事 ・自分が成長したと感ずること ・自分と同じように、仲間も成長していることに気付く 	<p>▶学校生活が振り返れるように、写真等を掲示したり、これまで記録したポートフォリオなどを用意したりしておく。</p> <p>▶学校以外での成長についても触れる。</p> <p>▶話し合いを生かして、様々な経験により、一人一人が成長したことを実感させる。</p> <p>▶互いの成長を喜び合える雰囲気大切に作る。</p>
展開 さぐる 見つける	<p>○次の学年に向けてなりたい自分を思いえがく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上学年の姿を想起させ、大まかななりたいイメージをもつ。 <p>○なりたい自分に向けて、今から取り組むことについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これから挑戦したいことや、継続して取り組みたいこと等について話し合う。 ・実践可能な具体的な内容となるようにする。 	<p>▶上学年の姿を想起させたり、上学年からのビデオレターやメッセージを紹介したりすることで、イメージをもちやすくする。</p> <p>▶なかなか書けない児童がいたら、児童の素直な思いが引き出せるように助言する。</p>
終末 決める	<p>○話し合ったことをもとに、自分に合った具体的な目標や実践方法を意思決定し、「砂川版キャリア・パスポート」に書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的なめあてや実践内容を決める。 ・次の学年への前向きな気持ちが高まるようにする。 	<p>▶次の学年へ向けて、残りの学校生活を有意義に過ごせるようにする。</p>

(6) 事後の指導

▶ 決めた目標について、○年生最後の日まで取組を続け、振り返りを行う。

▶ 低・中学年の場合は1週間程度など期間を決めて実践し、振り返るようにする。

「砂川版キャリア・パスポート」を活用した授業例 年度始め

- (1) 後期課程 特別活動
- (2) 7学年 学級活動 (3) 「一人一人のキャリア形成と自己実現」
ア 社会生活、職業生活との接続を踏まえた主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用
- (3) 題材『先輩からのメッセージを読み、自分の考えをまとめよう』
- (4) 事前の指導 (活動)
▶ (多様な価値観がある) 異なる個性の集まった集団でも、自分も相手も居心地よい環境がつけられることを説明する。
- (5) 本時の学習過程

	生徒の活動	指導の留意事項
導入	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 『先輩からのメッセージを読み、自分の考えをまとめよう』について確認 ▶ これから行う活動の流れについて指示 	
展開	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 個人で「後期課程の仲間入りを果たして」(ワークシート)を記入する。 ▶ 3rd ステージの先輩たちからのメッセージ(「後期課程へようこそ!」)をグループ内で回覧する。 ▶ 自分が「このメッセージが良いな、共感するな、うれしいなと感じたもの」をグループ内で話し合う。 ▶ 「なぜ、そのメッセージが良いと感じたか」をグループ内で相互に質問をする。 ▶ 3rd ステージの先輩たちからのメッセージや、クラスメイトとのグループ協議を通じて感じたことや考えたことなどをワークシートにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 生徒が現在の気持ち(期待や不安)を素直に表現できるよう、クラスの雰囲気等に配慮する。 ▶ 時間内でグループを組み直すなど、クラス内のできるだけ多くの生徒の発表を聞く事ができるよう工夫 ▶ 他者の意見を否定せず、傾聴の態度を促す。 ▶ 自己理解や他者理解、新たな人間関係の構築につなげる。
終末	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 2nd ステージの最高学年として、また、後期課程の仲間入りを果たして、今後さらに伸ばしたい力を意思決定すると共に、引き続き「砂川版キャリア・パスポート」を作成することの意義を再認識する。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 学習面や生活面においての目標、家庭や地域での目標、その他資格取得等、具体的に取り組みたいことを考えさせる。

- (6) 事後の指導 (活動)
 - ▶ このあと、7年生学年始めの「砂川版キャリア・パスポート」の作成時間を設定する。
 - ▶ 「後期課程の仲間入りを果たして」は学年末に記入する「1年間を振り返り新入生へメッセージを書こう」時に、生徒に返却する。
 - ▶ 「後期課程の仲間入りを果たして」や作成したワークシートは担任との面談などにも活用する。
- (7) 4月中での実施を想定している。

「砂川版キャリア・パスポート」を活用した授業例 年度終わり

- (1) 後期課程 特別活動
- (2) 7学年 学級活動 (3) 「一人一人のキャリア形成と自己実現」
ア 社会生活、職業生活との接続を踏まえた主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用
- (3) 題材『1年間を振り返り、後輩たちへのメッセージを書こう』
- (4) 事前の指導 (活動)
 - ▶前期課程から持ち上がった「砂川版キャリア・パスポート」を見返しておく
 - ▶今年度で記入した「砂川版キャリア・パスポート」を見返しておく
- (5) 本時の学習過程

	生徒の活動	指導の留意事項
導入	<ul style="list-style-type: none"> ▶「1年間を振り返り、後輩たちへのメッセージを書こう」について確認 ▶これから行う活動の流れについて指示 	
展開	<ul style="list-style-type: none"> ▶1学期に書いた「後期課程の仲間入りを果たして」、中学1年学年始めと、各学期末の「砂川版キャリア・パスポート」をもとに、入学したころの自分と一年間の自己の成長を個人で振り返る。 ▶自己の成長のきっかけとなったできごとや、成長を支えてくれた人やものなどについて、個人で振り返った内容をグループ内で話し合う。 ▶自分の発表に対するクラスメイトのコメントや、クラスメイトの発表を聞いて感じたことや考えたことをワークシートにまとめる。 ▶個人での振り返りやワークシートの内容をもとに、後輩に向けて「後期課程へようこそ！」を作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶時間内でグループを組み直すなど、クラス内のできるだけ多くの生徒の発表を聞く事ができるよう工夫 ▶他者の意見を否定せず、傾聴の態度を促す。 ▶自己理解や他者理解、新たな人間関係の構築につなげる。 ▶入学時の期待と不安な気持ちをもった自分自身に応援メッセージを送るつもりで考えさせる。
終末	<ul style="list-style-type: none"> ▶入学から学年末まで、授業やさまざまな行事を通して、どのような力が身についたのかイメージする。 ▶3rdステージに進級するにあたり、さらに伸ばしたい力を意思決定すると共に、引き続き「砂川版キャリア・パスポート」を作成することの意義を再認識する。 	

- (6) 事後の指導 (活動)
 - ▶学年末の「砂川版キャリア・パスポート」を作成する
- (7) 実施時期
2～3月中の実施を想定している。

「砂川版キャリア・パスポート」を活用した授業例

- (1) 7年生 特別活動
- (2) 7学年 学級活動 (3) 「一人一人のキャリア形成と自己実現」
ア 社会生活、職業生活との接続を踏まえた主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用
- (3) 題材「この1年間の成長を振り返ろう」
- (4) 事前の指導 (活動)
 - ▶ 6学年までの「砂川版キャリア・パスポート」を準備する
 - ▶ 7学年用の「砂川版キャリア・パスポート」を準備する
- (5) 本時の学習過程

	児童生徒の活動	指導の留意事項
導入	▶進級から今までを振り返る ・学習面、生活面、家庭や地域で	▶学期ごとの「砂川版キャリア・パスポート」を活用し、自分の成長を振り返るよう支援を行う
展開	本時のねらいを確認する ▶友だちとの共有し互いの成長を確認し合う。 ・付箋を準備し、自分や友だちの変容について記入し貼る ▶気付いた内容について、クラス全体で共有する。 ・成長の理由も合わせて考える。 ▶8年生になる自分への応援メッセージを書く	・1年間のがんばりを友だち同士で共有し、互いの成長を教えあえるようにする。 ・自己変容に気付けるように個別支援を行う。 ・付箋を活用することで、成長を可視化できるように工夫する。 ・理由を考えることで、成長が自覚できるようにする。 ・短期間の目標と中期間の目標を考えさせることで、具体的に行動することを考えさせる。
終末	▶そのために今、がんばる事を記入し発表する。 共有	▶具体的な取組について、意思決定をし、実践へつなげるようにする。

- (6) 事後の指導 (活動)
 - ▶ 8・9年のなりたい自分に向け、意思決定したことが実践できるようがんばりカードを記入していく。
 - ▶ 「砂川版キャリア・パスポート」の「保護者からのメッセージ」を活用することで、自己理解をさらに深められるようにする。

「砂川版キャリア・パスポート」を活用した授業例

- (1) 8 学年 特別活動
- (2) 8 学年 学級活動 (3) 「一人一人のキャリア形成と自己実現」
イ 社会参画意識の醸成や勤労観・職業観の形成
- (3) 題材「18 歳の私へ」
- (4) 事前の指導 (活動)
 - ▶ 職場体験活動の実施
 - ▶ 「砂川版キャリア・パスポート」(職場体験活動事後版) を各自記入させておく
- (5) 本時の学習過程

	児童生徒の活動	指導の留意事項
導入	▶ 職場体験活動後で、気付いたことを話し合おう <ul style="list-style-type: none"> ・ 伸ばせたこと ・ 新しく発見したこと ・ 働くことへの考え 	▶ 記入済みの職場体験活動後の砂川版キャリア・パスポートを活用し、伸ばせたことや新しく発見したこと等を具体的に伝えられるよう声かけを行う
展開	▶ 友だちとの共有したことを踏まえ、これからの自分の進路や将来について考えていることについて発表する。 ▶ 18 歳になった自分を見つめよう。 キャリア・パスポートに記入する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 18 歳の自分へどんな言葉かけをしたいか ・ 18 歳の自分がどんな夢に向かって頑張っているのか。そのことに興味を持った理由 ▶ 記入した内容についてグループで話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 記入後、グループで話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ グループでの話し合い後、クラス全体で共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学級内での対話と 30 歳の自分について考える活動がつながって話し合えるように支援する。 ・ 職場体験でお世話になった人々のことも思い出させる。 ・ グループ活動では、付箋に記入したものを貼っていくなど、意見が可視化できるように工夫する。 ・ 学級全体での話し合いを通じて、自分自身のよさや興味関心など、多面的・多角的に自己理解が深まるよう意見を引き出す工夫をする。
終末	▶ 自分が思う 18 歳になるために、今、何をしていくべきかをキャリア・パスポートに記入する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 共有 	▶ 意思決定を自己実現や生活及び人間関係の改善等の実践につなぐよう留意する。

- (6) 事後の指導 (活動)
 - ▶ 7 年生の際に書いていた「こんな大人になりたい (将来の夢や目標)」の記載を見直す。
 - ▶ 「砂川版キャリア・パスポート」の「保護者からのメッセージ」を各自書いてもらう。

「砂川版キャリア・パスポート」を活用した授業例

- (1) 9年生 特別活動
- (2) 9学年 学級活動 (3) 「一人一人のキャリア形成と自己実現」
ウ 主体的な進路の選択と将来設計
- (3) 題材 「30歳になった自分を見つめよう」
- (4) 事前の指導 (活動)
 - ▶これまで記入した「砂川版キャリア・パスポート」を準備しておく
 - ▶実態に応じて卒業アルバムの活用も考えられる
 - ▶生徒自身による9年間の軌跡を思い起こすグループワークを行ってもよい
- (5) 本時の学習過程

	児童生徒の活動	指導の留意事項
導入	<ul style="list-style-type: none"> ▶本時のねらいを確認 「30歳の私へ手紙を書こう」 ～1年生から9年生までの生活を振り返る～ ▶学校生活で心に残っていることを、クラス全体で交流 	<ul style="list-style-type: none"> ▶小学校とこれまで記入した中学校の「砂川版キャリア・パスポート」を活用し、これまでの自分を振り返り、意欲的に30歳の自分へメッセージを送ろうと取り組めるように支援する
展開	<ul style="list-style-type: none"> ▶友達と共有した思い出などを踏まえ、自分自身の9年間を振り返る <ul style="list-style-type: none"> ・頑張ったことなどを15年後の自分に伝える気持ちで自分に向けて記入する ▶自分の成長を振り返った上で、将来の自分を想像する <ul style="list-style-type: none"> ・どんな人になりたいか ・そう思った理由やきっかけ ▶記入した内容についてグループで話し合う <ul style="list-style-type: none"> ・9年間で成長したと感じたことや、将来の自分のイメージを伝え合う ・将来の自分のイメージに近づくためにどんなことが大切か話し合う ・グループでの話し合いの後に、クラス全体で共有する 	<ul style="list-style-type: none"> ▶記録のみの時間とならないように留意する ▶じっくりと、自分と向き合う時間を大切にしたい ▶9年間での成長を実感し、将来の自分をイメージすることで前向きに取り組む態度を育成する ▶肯定的に認め合う雰囲気大切に ▶グループでの話し合いを通して自己理解が深まるように声をかける
終末	<ul style="list-style-type: none"> ▶30歳の私へ向けて手紙を書く <ul style="list-style-type: none"> ・将来の自分の姿を具体的にイメージして、大切にしようと思うことなどをもとに手紙を書く 	<ul style="list-style-type: none"> ▶意思決定を自己実現や生活及び人間関係の改善等の実践につなぐよう留意する

- (6) 事後の指導 (活動)
 - ▶先生や保護者からメッセージをもらい、読んで気付いたこと、考えたことを記入する。
 - ▶実際30歳になった時には、ここで書いたことを読み、自分の言葉に力をもらえるようにしたい。